

Safety and Environment Center for Petroleum
Development

SEC ニュース

一般財団法人 エンジニアリング協会

石油開発環境安全センター

〒105-0001 東京都港区虎ノ門 3-18-19

(虎ノ門マリビル 10 階)

TEL(03)5405-7205 / FAX(03)5405-8201

URL: <http://www.ena.or.jp/SEC/>

第 105 号 / 2018. 4

- 平成 29 年度委員会・部会報告
 - ・ 第 2 回企画委員会
- 平成 29 年度 SEC の実施事業について
- 分科会活動報告
- 会員の広場
 - ・ 出張報告
 - ・ 学会等参加報告
- 会員の皆様へのお知らせ
 - ・ ENAA 研究成果発表会 2018 のお知らせ (予告)

■平成 29 年度 委員会・部会 報告■

第 2 回企画委員会および第 3 回企画技術部会を開催いたしました。両者の内容を代表して第 2 回企画委員会の内容を報告いたします。

□第 2 回企画委員会

日時：平成 30 年 3 月 12 日(月) 16:00~17:30

議事：山田所長より開会の挨拶の後、松尾委員長の議事進行により議事次第に従い、第 3 回企画技術部会（平成 30 年 3 月 7 日（水）開催）において報告・承認された内容に基づき、報告事項の説明が各担当者よりなされた。

(1) 平成 29 年度企画技術部会活動概要および平成 30 年度活動計画について報告がなされた。

- ① 「資源分科会」
- ② 「環境・エネルギー分科会」
- ③ HSE 検討ワーキンググループ
- ④ 環境影響評価分析ワーキンググループ

(2) 平成 30 年度事業計画(案)について事務局より説明がなされ、了承された。【審議項目 1】

(4) 平成 30 年度受託事業計画(案)について事務局より説明がなされ、了承された。

【審議項目 2】

- ①メタンハイドレート開発に係る海洋生態系への影響評価のための基礎研究
(平成 29 年度事業概要、平成 30 年度事業実行計画)
- ②SEC 新規事業(案)について

(5) 平成 30 年度予算 (案) について事務局より説明がなされ、了承された。 【審議項目 3】

■平成29年度SECの実施事業について ■

1) 受託事業：

- ①メタンハイドレート開発環境影響評価事業
- ②新潟製油新発田鉦山 R8 号井廃坑対策基礎調査

2) 自主事業

資源分科会、環境・エネルギー分科会にて講演会、見学会を開催いたしました。

・資源分科会

- ①講演：超深度・超高温掘削の歴史と超臨界地熱開発プロジェクトの動向
講師：長縄分科会長
- ②講演：「頁岩抑制へ挑戦」石油掘削に使用される掘削泥水に関する技術とその歴史
講師：(株)テルナイト取締役技術部長 佐藤 敬 氏
- ③五洋建設(株)技術研究所見学会
- ④講演：海洋掘削リグの進化と展望
講師：日本海洋掘削(株) プロジェクトエンジニアリング部課長 前田啓彰 氏

・環境・エネルギー分科会

- ①地熱発電所見学会
 - ・東北電力(株)上の岱地熱発電所,
 - ・湯沢地熱(株)山葵沢地熱発電所建設現場
- ②講演：本邦周辺の石油・天然ガス開発
講師：経済産業省 川端課長補佐
- ③(株)IHI 「海流発電システム」見学会
- ④講演：低炭素化に向けたグローバルトレンド - エネルギーと産業のパラダイムシフト
講師：(株)三井物産戦略研究所 国際情報部 シニア研究フェロー 本郷 尚 氏

・諸外国の環境影響評価書調査

2017年に公開された海洋石油・天然ガス開発先行国における環境影響評価書等を調査し、英国、オーストラリアおよびブラジルにおける13事例を収集いたしました。

■平成29年度受託事業について ■

新潟県新発田市より「新潟製油新発田鉦山 R8 号井廃坑対策基礎調査」を受託し、3月に報告しています。本事業は、平成30年度に新発田市が計画している旧新潟製油(株)新発田鉦山 R8 号井の廃坑工事に関し、新発田市が廃坑工事計画を策定するために必要な技術支援を行ったものです。当該坑井は平成17年まで原油の採集が行われ、その後は休止状態にありましたが、平成29年2月に突如油が噴出し、一刻も早く廃坑等の措置を講じる必要がありました。新発田市は廃坑工事を実施する計画ですが、同市には石油開発にかかわる専門家が不在なこともあり、SECに協力要請が来たものです。

(記：西野卓也)

■分科会活動報告■

□ 企画技術部会／資源分科会 講演会（平成 29 年度第 4 回）

日時：平成 30 年 2 月 28 日(水) 10：00～12：00 ENAA 会議室

平成 29 年度第 4 回資源分科会は講演会として開催されました。講演会は「海洋掘削リグの進化と展望」と題し、日本海洋掘削(株)プロジェクトエンジニアリング部前田啓彰課長より、海洋石油開発の方法、それに使用される掘削関連機器についての最新技術とその歴史に関して解説していただきました。海洋掘削全般に関して理解を深めることができ、出席者との活発な質疑が行われました。



(記：西野卓也)

□ 企画技術部会／環境・エネルギー分科会 講演会（平成 29 年度第 2 回）

日時：平成 30 年 2 月 6 日(火) 10：30～11：30 ENAA 会議室

平成 29 年度第 2 回環境・エネルギー分科会は、講演会として開催されました。講演会は「本邦周辺の石油・天然ガス開発」と題し、資源エネルギー庁石油・天然ガス課の斎藤課長補佐より、我が国周辺海域での石油・天然ガス探査の現状に関して簡潔に解説していただき、その後、出席者との間で活発な質疑が行われました。



(記：野村和男)

□ 企画技術部会／環境・エネルギー分科会 見学会（平成 29 年度第 3 回）

日時：平成 30 年 2 月 26 日(月) 13：30～16：00 (株)IHI

平成 29 年度第 3 回環境・エネルギー分科会は、横浜市磯子区の(株)IHI 横浜事業所を訪問し、「海流発電システム「かいりゅう」」を見学させていただきました。はじめに、ゲストハウスにて同社海洋技術グループ・長屋部長より、海流発電システムおよび NEDO 実海域実証事業の概要についてご説明を受けた後、バスで実証機が保管されている岸壁まで移動しました。参加者は、実証機の大きさを実感するとともに、実物を前にしての解説により海流発電について理解を深めることができ、ゲストハウスに戻ってから活発な質疑が行われました。業務ご多忙中にご対応くださいました(株)IHI の皆さまに、厚く御礼申し上げます。



見学参加者の皆さん（後列右端は見学をアレンジしていただいた(株)IHI 荒見企画委員会委員）



運搬用の台船に載った実証機「かいりゅう」
(株)IHI ホームページより)

(記：那須 卓)

□ 企画技術部会／環境・エネルギー分科会 講演会（平成 29 年度第 4 回）

日時：平成 30 年 3 月 20 日(火) 10：30～11：40 ENAA 会議室

平成 29 年度第 4 回環境・エネルギー分科会は講演会として開催されました。講演会は「低炭素化に向けたグローバルトレンド — エネルギーと産業のパラダイムシフト」と題し、(株)三井物産戦略研究所国際情報部の本郷尚シニア研究フェローにより、国際枠組みを巡る状況等について分かり易く解説していただきました。参加者とも活発な質疑が行われ、石油天然ガスに関する企業活動を考える上で国際的な枠組みについての情報収集が重要との理解を深めることができました。



(記：那須 卓)

■ 会員の広場 ■

《出張報告》

□国際石油開発帝石株式会社 鉾廃水処理設備見学（秋田市）

日程：平成30年3月8日（木）13:30～17:00

国際石油開発帝石㈱東日本鉾業所秋田鉾場にて、八橋油田の来歴および現在の油・ガスの生産状況に関してご説明をいただいたのち、外旭川プラントに移動して標記鉾廃水処理設備を見学させていただきました。同処理設備は、「JOGMEC 技術ソリューション事業（フェーズ2）『セラミック膜による随伴水処理技術の小規模実証試験』」として平成27年度から29年度の3ヵ年で実施されているパイロットプラントとなります。同事業は、JOGMEC 殿のもと千代田化工建設㈱、メタウォーター㈱との共同事業であり、鉾廃水のうち油分処理についてはメタウォーター社のセラミック膜を採用したものとなっています。下写真中の縦型シリンダー容器内にセラミック膜が設置されています。

訪問時は、冬季の運転休止期間にあたっていました。プレゼンと現地でのご説明により性能等につき理解を深めることができました。業務ご多忙中にご対応くださいました国際石油開発帝石㈱の皆さまに、厚く御礼申し上げます。



（記：野村和男）

《学会等参加報告》

□石油学会「非在来型」シンポジウム

日程：平成30年3月5日（月）13:00～17:35 早稲田大学 西早稲田キャンパス

石油学会主催の「非在来型」シンポジウムに参加しましたので報告します。本シンポジウムでは、水溶性天然ガス、微生物起源ガス、タイトオイル、CBM、メタンハイドレート等、非在

来型資源に区分される資源の資源量と開發現状について、早稲田大学栗原先生を始めJOGMEC、関東天然瓦斯開発、石油資源開発、地下資源イノベーションネットワーク等それぞれを実施している会社の専門家より紹介がありました。普段聞くことの出来ない貴重な話を聞くことが出来ました。

(記：西野卓也)

■会員の皆様へのお知らせ■

□ENAA 研究成果発表会 2018 のお知らせ (予告)

ENAA 研究成果発表会 2018 を7月10日(火)ENAA 本部、11日(水)石油センター／地下センターで2日間を予定しております。詳細は決定次第 ENAA ホームページに掲載いたします。



2018年度のスタートです。今年は桜の開花が例年より早く桜の時期もはや過ぎて、緑色が日一日と濃くなってまいりました。今年度も事務局、力を合わせ会員の皆様のご協力をいただきながら活動してまいりたいと思います。引き続き皆様のご指導ご鞭撻を賜りたくよろしくお願い申し上げます。SEC事務局一同

